第１３号

衆議院議員

岡本あき子

立憲民主党訪米団に参加しました。『政党外交』を拓く！！

1964 年 8 月生まれ。向山幼稚園卒園、青森、秋田、会津などで過ごす。宮城県第二女子高、東北大学卒業。ＮＴＴ（株）社員、仙台市議会議員（５期）を経て、第 48 回衆議院選挙で初当選。現在、衆議院内閣委員、東日本大震災復興特別委員、立憲民主党政調会長補佐、東北ブロック常任幹事、宮城県連合代表

立憲民主党 The Constitutional Democratic Party of Japan

は、「パートナーズ」を募集しています。お問い合わせ先は下記へ。

発行元：立憲民主党宮城県第１区総支部（兼 宮城県連合・東北ブロック連絡所）

〒980-0802 仙台市青葉区二日町２-１-４Ｆ　（TEL）022-393-7761　（FAX）022-393-7236

立憲民主党訪米団に参加

枝野幸男代表を団長とする立憲民主党訪米団は、９月１１日～１６日、米国・ワシントン DC を訪問。訪米団には岡本あき子も参加し、政治家、シンクタンク、学者、学生、メディア、NPO など１００名近い方々との面談をしました。

立憲民主党として初めての訪米団であり、①結党の挨拶と党の理念・政策の説明、②トランプ政権下の米国の状況把握と意見交換、③日米関係および東アジアの安全保障環境に関する現状認識の共有化と意見交換、④アメリカ社会における分断やＬGBT、女性政策などをめぐる状況の把握と意見交換、⑤公文書館制度の調査、他国の政党外交のあり方の調査、などを目的としたものです。

◆サンダース上院議員（中）、枝野代表（右から二人目）らと岡本あき子（左）

米国の民主党、共和党の下院議員と面談

◆米国の民主党（カリフォルニア 53 区選出）のスーザン・デイビス下院議員（左）と

現地時間１３日、民主党のスーザン・デイビス下院議員と面談し、立憲民主党の政策についてなどを説明、意見交換を行いました。

その後、民主党アミ・ベラ下院議員、親日家で共和党のビリー・ロング下院議員と相次いで面談。北朝鮮、TPP、地域経済活性化など中心に、率直な意見交換を行いました。

◆ビリー・ロング下院議員（中）と。親日家の目からの忌憚のない意見を伺いました

サンダース上院議員と会談

格差是正を前面に掲げ、２０１６年米国大統領選の民主党候補選びで、若者の圧倒的な支持を集めたサンダース上院議員との会談では、若者と政治、格差と貧困、気候変動、中国及び北朝鮮の情勢などをめぐり意見交換しました。

サンダース氏は「支持を集めたカギは、若者の学費負担の問題をしっかりと受け止めたこと。国民の声に寄り添うことが重要」と語り、以前は政治に関心のなかったような若い世代や労働者が立候補する動きがあることを紹介。

枝野幸男代表は、「立憲民主党も草の根からの民主主義を掲げている」と説明し、本来の民主主義を取り戻すことが重要との認識を共有しました。

◆サンダース上院議員（中）からは、「日本の若者には、今、Fair(公正)とJustice(正義)の信念はあるのか！！」と厳しく問われました

国立公文書館訪問

最終日に訪れた国立公文書館（ＮＡＲＡ）は、米国政府の文書および歴史的価値のある資料を保管する独立機関です。①政府・省庁の文書管理の監督権限を有し、政府や省庁などの公式文書を破棄するか保管するか、保管するなら何年するか、各省庁と協力しながら決裁し、②省庁などの文書管理体制に疑念が挟まれた場合は、検閲することもあります。また、③研究員登録をすると、ＮＡＲＡの文書を利用した研究を誰でも行うことができ、広く市民に開かれています。

政府に対して、大きな権限を持つ公文書館のスタッフは、専門性を認められた者が政府からの指名を受けて就任。しかし、任期は長く、大統領が交代しても（他の政府職員のように）交代するわけではなく、政権の影響を受けにくい安定した運営が可能となっています。

公文書の改ざんが大きく問題となった日本にとって、こうしたシステムは学ぶべきことが多く、日本でも公文書の管理・監督をする独立機関設立の動きを作るべく、協力を深めていく予定です。

◆国立公文書館で、硫黄島日本人遺骨収集についてマッピングを行っている研究グループを視察

政権交代も視野に。人間関係の信頼が重要

今回の訪米は、政権交代も視野に立憲民主党の対米外交の第一歩となるような様々なシンクタンクや議会議員、女性団体やＬＧＢＴ人権保護団体などと幅広い政策課題について意見交換をしました。

その中で感じたことは、「草の根交流」「人間の信頼関係」が重要ということ。例えば辺野古基地の移設問題などを、膝を突き合わせて率直な話をしていると『情報が日米政府のフィルターを通して伝わっている』ことをはっきりと感じました。顔を合わせて話し合うことが相互理解の基本だと、改めて認識しました。

今後も、立憲民主党として“顔の見える”情報発信・交換を続け、信頼関係を築く「政党外交」を進めて参ります。

2018.11.1 発行

RIKKEN MINSHU 号外

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル３F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主
The Constitutional Democratic Press